

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	795 研究指定校支援事業					
予算科目	01-100102-22 学校教育研究支援に要する経費			担当部課	教育局学び推進課	
市長公約				係名	教育指導係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	04質の高い教育をみんなに	

事業の概要

対象	教職員
目的	指導法や教材の開発、教職員の資質の向上を図り、児童生徒の学力を向上させる。
概要 (取組内容)	市教育局で教育研究のモデル校を指定し、指導法や教材の研究開発に対し指導・助言をする。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	1,240	760	1,160	1,240	1,240	
	決算額	(千円)	620	353	1,014	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	620	353	1,014	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,178	8,273	7,907	7,907	7,907	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.70	1.15	1.10	1.10	1.10
		正職員時間外勤務	(時間)	170.00	170.00	170.00	170.00	170.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	研究校（学園）の指定数（校）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	5.0	5.0	2.0	4.0	4.0	4.0
	実績	5.0	2.0	2.0	4.0	0.0	0.0
指標の概要	市教育局で教育研究の指定モデル校を指定し、指導・助言する。						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	対面に加え、オンラインも活用して開催することができた。	
成果	春日学園・秀峰筑波義務教育学校で11月に研究発表会を実施した。 5・6校時を公開し、1校2名参加、6校時はオンラインで配信した。 2学園の2年間の取り組みを全市で研修し、今後の指導に参考となった。 尚、今年度より、桜並木・高崎学園において、来年度の研究発表に向けて研修・研究に取り組んでいる。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続	
理由	-	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	796 教職員の各種研修事業					
予算科目	01-100102-22 学校教育研究支援に要する経費			担当部課	教育局学び推進課	
市長公約				係名	教育指導係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	

事業の概要

対象	教職員
目的	教職員の資質及び指導力の向上を図り、児童生徒の学力向上を目指す。
概要 (取組内容)	発表会を開催 市教育委員会主催の各種研修講座に講師を招き、視察研修を実施

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	130	130	1,739	1,834	1,834	
	決算額	(千円)	98	17	1,186	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	98	17	1,186	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,167	3,537	5,573	5,573	5,573	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.25	0.45	0.75	0.75	0.75
		正職員時間外勤務	(時間)	190.00	190.00	190.00	190.00	190.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	教職員の各種研修への参加数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1,200.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0
	実績	1,264.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0	0.0	0.0
指標の概要	各種研修講座（総合教育研究所主催の研修も含む。）への参加教職員数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	働き方改革と資質能力の向上をバランスよく推進するための効果的な研修を推進した。	
成果	オンライン研修と対面研修のハイブリッド形式の研修を実施し、働き方改革と資質能力の向上をバランスよく推進した。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	799 学習指導助言事業					
予算科目	01-100102-22 学校教育研究支援に要する経費			担当部課	教育局学び推進課	
市長公約				係名	教育指導係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	

事業の概要

対象	教職員
目的	教職員の資質の向上を図る。
概要 (取組内容)	各学園学校の実態と発達段階に応じ、各教科領域の指導目標を達成するために効果的な指導方法について共に考え、適切に助言する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	10,937	6,881	7,204	7,204	7,204	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.50	0.90	0.95	0.95	0.95
		正職員時間外勤務	(時間)	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	訪問学校、幼稚園数 (校)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	61.0	61.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	61.0	61.0	0.0	0.0
指標の概要	市内幼稚園16園及び市内学校45校（小学校29、中学校12、義務教養学校4）の訪問学校数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	各種指導訪問指導の日程を管理的な学校訪問を管轄している学校教育審議監との連携を密に行うことでスムーズな日程調整を実現した。	
成果	予定通り計画指導訪問を実施することができた。昨年度は、コロナウイルス感染用対策のため、オンラインで実施していた分科会を今年度は対面で行うことができ、つくば市教育大綱の理念実現のための授業改善を図ることができた。	
課題	業務	訪問準備へ時間的な課題がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	年間計画を立案し、計画的に効率よく訪問指導ができるようにする。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	800 学校教育指導方針の作成事務					
予算科目	01-100102-22 学校教育研究支援に要する経費			担当部課	教育局学び推進課	
市長公約				係名	教育指導係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	

事業の概要

対象	市教職員
目的	つくば市の教育方針について、市の教職員や視察者に示す。
概要 (取組内容)	学校教育指導方針を作成する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	220	220	220	414	414	
	決算額	(千円)	166	181	210	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	166	181	210	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,261	1,586	2,604	2,604	2,604	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.20	0.35	0.35	0.35
		正職員時間外勤務	(時間)	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	学校教育指導方針の作成部数 (冊)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1,500.0	1,500.0	1,500.0	1,500.0	1,500.0	1,500.0
	実績	2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0	0.0	0.0
指標の概要	市立学校勤務の教職員に配布する各年度のつくば市学校教育の指導方針をまとめた冊子の作成部数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	つくば市教育大綱に基づき、令和4年度版の指導方針を作成した。	
成果	つくば市教育大綱、つくば市教育振興基本計画等の指針に基づき、つくば市の教育を重点項目についてわかりやすく構成した。また、ランドデザインを大幅に見直し、つくば市の教育の方針を作成することができた。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	801 研究奨励助成事業					
予算科目	01-100102-22 学校教育研究支援に要する経費			担当部課	教育局学び推進課	
市長公約				係名	教育指導係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs		

事業の概要

対象	学校
目的	主体的で先進的な取り組みの学校を助成することで、市内学校の教育力の向上を図る。
概要 (取組内容)	自主的・組織的に研究に取り組もうとする学校に研究奨励費を助成し、研究の支援を行う。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	615	590	575	989	989	
	決算額	(千円)	595	460	371	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	595	460	371	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	754	3,490	2,117	2,117	2,117	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.50	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	奨励校数 (校)					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	5.0	5.0	5.0	5.0
	実績	0.0	0.0	4.0	3.0	0.0	0.0
指標の概要	先進的な教育に関する研究に主体的に取り組む研究奨励校の数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	学園の森義務教育学校、吾妻小学校、並木小学校の3校に研究奨励費を助成した。学園の森義務教育学校は、児童生徒の考えを広げ深めるためのICTの活用について、吾妻小学校は、教えから学びへの実現に向けた発問の在り方について、並木小学校は保護者、地域が参画した特色ある学校づくりについて、それぞれの学校が課題の克服を目指した研究を実践した。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	802 小中一貫教育推進事業					
予算科目	01-100102-22 学校教育研究支援に要する経費			担当部課	教育局学び推進課	
市長公約				係名	教育指導係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	

事業の概要

対象	児童・生徒
目的	子供の成長の連続性の保証を実現する。
概要 (取組内容)	効果的な経営・運営方法や学習・生徒指導等について、適切に助言する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	186	257	280	82	82	
	決算額	(千円)	0	0	133	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	133	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	13,587	11,931	12,580	12,580	12,580	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.85	1.60	1.70	1.70	1.70
		正職員時間外勤務	(時間)	410.00	410.00	410.00	410.00	410.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	研究指定発表校 (校)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	2.0	2.0	2.0	0.0	0.0
	実績	0.0	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0
指標の概要	市教育局で教育研究の指定モデル校を指定し、毎年2つの学園で発表を実施。						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	学習指導要領の充実を図り、計画指導訪問の中で評価に関する考え方の方向性を示してきた。また、教科の系統性を見直しを逐次行った。	
成果	本年度は、STEAM教育の視点に立った、協働的学びの実現に向けての研究を春日学園義務教育学校で、学びを自覚するための見通す・振り返る活動の充実の研究を秀峰筑波義務教育学校で行い、それぞれの特色を生かした小中一貫教育の成果を研究した。また、カリキュラムマネジメントにより教科の系統性を意識した教育課程を実現することができた。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	803 弁護士によるいじめ防止授業実施事業					
予算科目	01-100102-22 学校教育研究支援に要する経費			担当部課	教育局学び推進課	
市長公約				係名	教育指導係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制		
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	

事業の概要

対象	児童・生徒
目的	いじめを起こさない学校づくりに資する。
概要 (取組内容)	法の専門家である弁護士から、専門的視点で助言を受けるとともに、チームティーチング形式でいじめの防止対策のための授業を行う。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	480	480	506	632	632	
	決算額	(千円)	480	480	553	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	480	480	553	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	74	2,123	755	755	755	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.30	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	いじめ防止授業実施数 (コマ)					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	40.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0
	実績	40.0	32.0	32.0	35.0	0.0	0.0
指標の概要	弁護士によるチームティーチング形式のいじめ防止対策授業						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	できるだけ早目に学校に周知するとともに、事前に、弁護士が欲しい学校の情報を各学校からオンラインで調査を取り、共有することで連携を強化し、学校と弁護士の打合せをより効率的かつ充実したものにするよう改善を図った。	
成果	希望学校が多数で、予定していた目標よりも多くのコマ数で授業を行った。学校からの感想や評価コメントからも、授業の有効性が得られた。	
課題	業務	—
	組織、予算等	希望数に対して実施数が少ないため、実施できない学校がある。それらをカバーできる予算としたい。
改善目標	希望学校の授業をすべて補える予算にて実施する。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	5	年度当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	804 学校生活総合質問調査委託事業					
予算科目	01-100102-22 学校教育研究支援に要する経費			担当部課	教育局学び推進課	
市長公約				係名	教育指導係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制		
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	

事業の概要

対象	児童・生徒
目的	学校生活アンケート及び各学校調査において、支援を必要とする児童生徒の状況を把握する。また、調査結果については、保護者にも面談等で伝え、今後の支援体制を共有する。
概要 (取組内容)	市内各学校の小学4、5、6、中学1、2、3年生対象の紙面またはWeb上（オンライン上）の質問方式による学校生活状況や意識調査を包括的に調査・分析を実施する。 紙面かWeb上かについては、学校の実態により各学校が実施方法を判断する。 集計・分析等については、教育局で行う。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	5,637	5,978	6,149	6,198	6,198	
	決算額	(千円)	4,953	5,210	5,281	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	4,953	5,210	5,281	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	37	3,112	2,761	2,761	2,761	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.45	0.40	0.40	0.40
		正職員時間外勤務	(時間)	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	学校生活アンケート実施児童生徒数 (人)					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	14,233.0	14,233.0	14,233.0	14,233.0	14,233.0
	実績	0.0	13,643.0	13,531.0	13,716.0	0.0	0.0
指標の概要	市内各学校4年生～9年生対象の学校生活等のアンケートを実施する。						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	児童生徒一人一人の実態把握に役立てるとともに、面談等で保護者とも共有できた。今後の生徒指導に活用が期待できる。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	811 学校図書館司書教諭補助員配置事業					
予算科目	01-100202-18 学校図書館司書教諭補助員に要する経			担当部課	教育局学び推進課	
市長公約				係名	教育指導係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	

事業の概要

対象	児童・生徒、配置する補助員
目的	児童生徒の学校図書館利用や読書活動の活発化を図る。
概要 (取組内容)	司書教諭は、学級担任や教科担当と兼務であるため、司書教諭補助員を配置し、児童の読書環境を整えていく。学校図書館司書教諭補助員の主な業務は、整理、照会、貸出し等司書教諭の補助である。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	143	146	146	154	154	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,094	3,490	3,479	3,479	3,479	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.15	0.50	0.50	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	学校図書館司書教諭補助員配置数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	33.0	49.0	49.0	49.0	49.0	49.0
	実績	33.0	49.0	49.0	49.0	0.0	0.0
指標の概要	司書教諭の補助として、本の整理、照会、貸出し等を行う学校図書館司書教諭補助員の数。学校図書館司書教諭補助員は、市内全小学校及び中学校、義務教育学校前期課程、義務教育学校後期課程に配置している。						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	小学校、中学校ともに司書教諭補助員を配置した。 選書や本の廃棄を計画的に行えるよう、オンデマンド方式の研修を設けることで専門性を高め、学校図書館の活性化につながった。	
成果	市内小中学校、義務教育学校に図書館司書教諭補助員を1名ずつ配置し、オンデマンド方式の研修を実施した。 各学校の司書教諭の補助として学校図書館の運営に当たり、児童生徒の読書環境を整え、学校図書館の活性化を図ることができた。	
課題	業務	司書教諭補助員の参集型研修の充実
	組織、予算等	特になし
改善目標	参集型研修を設けることで情報共有を行い、司書教諭補助員の専門性を高め、学校図書館の読書センター、学習センター等としての機能を高めていく。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	2	事務事業の統合、縮小を検討する必要がある。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	新設校3校の開校のため。

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	812 理科支援員等配置事業					
予算科目	01-100202-19 理科支援員等配置に要する経費			担当部課	教育局学び推進課	
市長公約				係名	教育指導係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	

事業の概要

対象	児童・生徒、配置する支援員
目的	小学校及び義務教育学校前期課程の理科教育の活性化及び一層の充実を図るとともに、小学校及び義務教育学校教員の理科指導力の向上を図る。
概要 (取組内容)	研究者や教員のOBなど理科が得意な人材（理科支援員）を小学校及び義務教育学校に派遣（5、6年生における理科授業の観察・実験等の準備、実施支援、後片付け等の支援を行う。） 1日3時間（週1日勤務11人、週2日勤務17人、週3日勤務3人、週4日勤務1人、週5日勤務1人）1学級につき35時間、158学級（小学校29校と義務教育学校4校の理科支援員33人）で実施。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	6,425	302	301	11,888	11,888	
	決算額	(千円)	2,500	247	91	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	2,500	247	91	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,094	1,098	3,820	3,820	3,820	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.15	0.15	0.55	0.55	0.55
		正職員時間外勤務	(時間)	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	理科支援員配置数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0
	実績	33.0	33.0	33.0	33.0	0.0	0.0
指標の概要	令和4年度は週1日勤務11人、週2日勤務17人、週3日勤務3人、週4日勤務1人、週5日勤務1人となっている。今後は新設校が入ること、学級数が増えることでさらに勤務日、人数が増える見通しである。						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	学校訪問を行う中で、理科支援員のサポートの様子や支援に対する助言を実施した。	
成果	観察・実験の準備や片付け、理科室や理科準備室の環境整備が充実した。教員と支援員が協力して、理科授業や観察・実験を行うことで、子供たちの学習活動を充実させ、学習内容の定着を図ることができた。また、複数体制で授業を行うことで、実験事故の未然防止や安全な実験を行うことができた。	
課題	業務	理科支援員同士の情報交換の場の設定や、理科支援員対象の研修を実施することで、さらに支援の質の向上を図る。
	組織、予算等	週当たりの勤務日をさらに育大・充実できるよう適切に人的配置を行う。
改善目標	理科支援員を対象とした研修会の実施する。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	拡大・拡充	
理由	市内に本事業対象となる学校が2校開校となるため。	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	813 派遣指導主事の配置事業					
予算科目	01-100102-16 指導主事に要する経費			担当部課	教育局学び推進課	
市長公約				係名	教育指導係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	

事業の概要

対象	教職員
目的	市の学校教育における諸問題の調査・研究、教職員の研修、教育情報の収集や学校・地域への発信、教育相談、各学校や園への指導・助言を組織的に推進し、市の学校教育の一層の充実と振興を図る。
概要 (取組内容)	学び推進課に派遣指導主事(総研・教育相談センター含)を配置し、学校運営の指導や各教科の指導・研究及び科学教育事業等を行う。 いじめや不登校など学校生活への不適応や人間関係に苦しむ児童生徒・保護者の相談に対応する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	90,543	90,543	96,673	96,674	96,674	
	決算額	(千円)	84,900	86,040	95,449	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	84,900	86,040	95,449	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	730	1,416	2,433	2,433	2,433	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.20	0.35	0.35	0.35
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	学校訪問回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	150.0	150.0	150.0	150.0	150.0	150.0
	実績	163.0	153.0	142.0	167.0	0.0	0.0
指標の概要	計画指導訪問（市内全51校）、要請訪問（研究指定校3校）、小中一貫指導訪問（全15学園）、特別支援指導訪問、生徒指導訪問、学力向上推進訪問等の訪問回数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	継続して学校、幼稚園に指導訪問を行い、教職員の資質向上を図った。	
成果	6月から10月に計画指導訪問、誌研究指定の訪問、生徒指導訪問、特別支援指導訪問等を実施。これらにより教職員の資質向上を図ることができた。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続	
理由	—	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	814 学校教育指導員の配置事業					
予算科目	01-100102-27 学校教育指導に要する経費			担当部課	教育局学び推進課	
市長公約				係名	教育指導係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	

事業の概要

対象	市立幼稚園、小・中学校、義務教育学校指導員
目的	学校教育指導員を配置し、学校教育及び幼稚園教育の充実及び進行を図る。
概要 (取組内容)	教員からの学校運営に関する相談や保護者からの学校への要望等に対し、迅速かつ的確なアドバイス等ができるように、専門的な知識をもつ「学校指導員」を任用する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	730	49	3,114	3,114	3,114	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.00	0.45	0.45	0.45
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	学校・幼稚園訪問回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	61.0	61.0	315.0	315.0	315.0	315.0
	実績	72.0	300.0	300.0	350.0	0.0	0.0
	指標の概要	教員からの学校運営に関する相談や保護者からの学校への要望等に対し、迅速かつ的確なアドバイス等を行うために学校・幼稚園を訪問する回数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	学校及び幼稚園訪問を実施し、学校経営、学級経営に関する相談や保護者、児童生徒対応等、的確にアドバイスを行った。	
課題	業務	より良い学級経営のための、担任支援、児童生徒支援の必要性。
	組織、予算等	特になし
改善目標	一人職の教員の困り感を聞き取り、ケアするとともに、適切な支援につなげる。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	861 つくばスタイル科の振興						担当部課	教育局学び推進課
予算科目	-	-					係名	教育指導係
市長公約								
戦略プラン	II-6	1	1	つくばスタイル科による環境教育			新規・継続	新規
							事業分類	自治事務（任意）
							事業体制	職員のみ
個別計画	特になし						事業期間	毎年度
根拠法令等	特になし						SDGs	04質の高い教育をみんなに

事業の概要

対象	市内小中学校等の児童・生徒
目的	つくばの未来を担い、国際社会で活躍できる人材を育成する。
概要 (取組内容)	「環境」「キャリア」「歴史・文化」「健康・安全・防災」の4単元を9年間の系統性を図りつつ、つくば21世紀型能力を身に付ける。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,020	1,025	1,362	1,362	1,362	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.15	0.15	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	SDG s シール各学校参加率 (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	実績	0.0	97.0	97.0	98.0	0.0	0.0
	指標の概要	(個別施策Ⅲ-2-①個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む学校教育の創出) 環境問題など課題解決を提案するSDG s シール各学校参加率					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	つくばスタイル科ワーキンググループを年4回開催し、学校におけるスタイル科実施についての課題点の洗い出しを行い、単元プランへの反映を図った。	
成果	つくばスタイル科における「環境」「キャリア」「歴史・文化」「健康・安全・防災」の4単元を9年間の系統性を図りつつ発信型PBLとして実践することで、つくば21世紀型能力の育成を図った。	
課題	業務	-
	組織、予算等	-
改善目標	-	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	721 主体的・協働的な学びの推進						担当部課	教育局学び推進課
予算科目	-	-					係名	教育指導係
市長公約								
戦略プラン	Ⅲ-2	1	1	主体的・協働的な学びの推進			新規・継続	新規
							事業分類	自治事務（任意）
							事業体制	職員のみ
個別計画	特になし						事業期間	毎年度
根拠法令等	特になし						SDGs	04質の高い教育をみんなに

事業の概要

対象	児童・生徒、教員
目的	児童生徒が能動的に協働しながら自ら問いを立て、解決する力を身に付ける。
概要 (取組内容)	教科学習・つくばスタイル科等での探究的な課題解決学習を推進するとともに、そのための環境整備を目指す。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	680	684	681	681	681	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	つくばスタイル科のワーキンググループへの参加人数 (人)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
	実績	0.0	16.0	16.0	16.0	0.0	0.0
指標の概要	つくばスタイル科における探究的な課題解決学習を推進するための単元等を見直し、次年度の計画を立てるグループに参加している人数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	計画指導訪問等を通して、教育大綱にある「教えから学びへ」「管理から自己決定へ」を各校に継続して周知した。また、ICTの効果的な活用法についても事例を共有し、紹介した。	
成果	ICTを効果的に活用した授業実践が増えてきた。また、「教えから学びへ」の転換が図られ、児童生徒が主体的に学ぶ授業展開となってきている。	
課題	業務	単元全体を見通した授業計画、児童生徒主体の学習課題の設定等には、教師間の格差が感じられる。
	組織、予算等	特になし
改善目標	計画訪問、要請訪問等を通して、授業計画、児童生徒主体の学習課題の設定の仕方等について継続して伝え、主体的・協動的な学びの推進を図る。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	797 つくば市サイエンスキッズリーグ事業					
予算科目	01-100102-22 学校教育研究支援に要する経費			担当部課	教育局学び推進課	
市長公約				係名	教育指導係	
戦略プラン	Ⅲ-2	1	3	科学教育の推進と批判的思考の育成	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	特になし				事業期間	毎年度
根拠法令等	特になし				SDGs	04質の高い教育をみんなに

事業の概要

対象	児童・生徒
目的	児童生徒の理科教育・科学教育への興味関心を高め、国際的な科学オリンピック等にも積極的に参加し活躍できる人材を育成する。
概要 (取組内容)	科学について市内児童生徒が1チーム3人のチーム戦で筆記による共通課題へ取り組み、決勝リーグで実験実技の競技（サイエンスキッズリーグ）を開催する。 児童生徒の理科教育・科学教育への興味・関心を高め、「科学の甲子園」や国際的な科学オリンピック等にも積極的に参加する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	389	335	335	335	335	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,286	4,003	3,310	3,310	3,310	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.55	0.45	0.45	0.45
		正職員時間外勤務	(時間)	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

指標名	サイエンスキッズリーグへの参加校数 (校)					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	目標値	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0
	実績	24.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策Ⅲ-2-①個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む学校教育の創出) サイエンスキッズリーグに参加する学校数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	今年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施していない。	
成果	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。	
課題	業務	コロナ禍でも感染予防を講じた実施について。
	組織、予算等	特になし。
改善目標	新型コロナウイルス感染症が収束した後の実施方法について。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	2	計画から遅れている。(未達成)
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	793 協働的な遊びや様々な体験の充実						担当部課	教育局学び推進課
予算科目	-						係名	教育指導係
市長公約							事業分類	新規
戦略プラン	Ⅲ-2	3	1	協働的な遊びや様々な体験の充実			新規・継続	新規
	Ⅲ-2	3	2	幼保小連携の推進			事業分類	自治事務（任意）
							事業体制	職員のみ
個別計画	特になし						事業期間	毎年度
根拠法令等	特になし						SDGs	04質の高い教育をみんなに
								10人や国の不平等をなくそう

事業の概要

対象	幼稚園教諭、教職員
目的	子どもたちの資質・能力や非認知能力を育むための研修を通して、保育士の指導力や専門性を高める。保幼小接続カリキュラムを通して保幼小の円滑な接続や連携の充実を図る。
概要 (取組内容)	子供の非認知能力を向上させる研修を実施し「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を意識した保育法について知見を深める。 保幼小の交流を計画的に実施し異年齢との関わりを通して様々な体験活動の充実を図る。 アプローチ、スタートカリキュラムを通して円滑な保幼小の接続や保幼小の情報交換の充実を図る。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	0	495	495	525	525	
	決算額	(千円)	0	430	490	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	430	490	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,020	1,025	1,022	1,022	1,022	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	非認知能力向上研修を受けた幼稚園教諭の数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
	実績	16.0	16.0	16.0	16.0	0.0	0.0
指標の概要	非認知能力向上研修を実施し、各園から1名の参加とする。						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	<p>コロナウイルス感染拡大防止の観点から、保育施設・学校間における幼児や児童の交流が困難であったため、動画やメッセージの交換等、形態を工夫して保育内容や学習内容の共有を図った。また、幼稚園の保育公開と研究協議からなる研修を市で企画し、保育内容を教員間で共有する機会を設けた。</p>	
成果	<p>計画指導訪問時の指導を通して、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿や非認知能力の育成を推進した。幼児保育施設と学校間での幼児・児童の交流が困難であったため、同一施設内での異学齢交流や環境構成の工夫を通して、協同的な遊びや様々な体験の充実を図った。</p>	
課題	業務	<p>保育施設・学校間における幼児・児童間の交流の実施 教員間の相互授業参観や研究協議の実施</p>
	組織、予算等	<p>特になし</p>
改善目標	<p>非認知能力の育成を目指した研究・研修の推進 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の具体的なイメージの共有と看取り</p>	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	805 国際理解教育推進事業					
予算科目	01-100102-23 国際理解教育推進に要する経費			担当部課	教育局学び推進課	
市長公約				係名	生徒指導係	
戦略プラン	Ⅲ-3	1	2	国際理解講座や文化交流事業の開催	新規・継続	継続
	Ⅲ-3	1	3	日本語支援体制の充実	事業分類	自治事務（任意）
個別計画	日本語指導・国際理解集会				事業体制	職員のみ
					事業期間	毎年度
根拠法令等	特になし				SDGs	04質の高い教育をみんなに

事業の概要

対象	児童・生徒、ボランティア市民
目的	異なる文化や考え方を尊重する態度を育む。
概要 (取組内容)	日本語指導においては、日本語の理解が十分でない児童生徒が学習や生活に支障がなく適応できるようにするための支援が必要である。 また、国際理解集会については、児童生徒の多文化理解を促進するために、各学校または学園単位で国際理解集会等を実施し、外国の文化や考え方に体験的に触れる機会を設けている。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	2,369	2,657	5,014	5,450	5,450	
	決算額	(千円)	0	1,687	3,704	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	1,687	3,704	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,479	2,490	7,589	7,589	7,589	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.35	0.35	1.10	1.10	1.10
		正職員時間外勤務	(時間)	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	有	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	国際理解集会実施校数 (校)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0
	実績	33.0	33.0	22.0	33.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策Ⅲ-3-①多様性をいかした社会の推進) 小学校及び義務教育学校(前期)で実施する。						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	地域ボランティア団体と協力して人材確保に努めた	
成果	各学校の実態に応じて地域人材を活用した集会を行ったり、ワールドキャラバン事業を活用したりと児童が様々な文化に触れる機会を確保することができた	
課題	業務	各学校で開催時期が異なるため、謝金支払いのための伝票の確認や処理が遅れてしまうことがある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	報告書の提出についての周知徹底	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—